

2000年2月28日

サッポロビール株式会社

代表取締役

岩間 辰志様

東京消費者団体連絡センター(加盟42団体)

事務局長 佐藤正徳

<事務局>

中野区中央 5-41-8

Tel 03-3383-7991

日本アルコール問題連絡協議会(加盟13団体)

会長 上野 佐

<事務局>

中央区日本橋浜町 3-19-3 ツグノ21ビル

(アルコール問題全国市民協会内)

Tel 03-3249-2551

東京箱根往復大学駅伝競走のCMに関する要望書

昨年同様今年も貴社がスポンサーとなり、1月2・3日に東京箱根往復大学駅伝競走(以下、箱根駅伝)が行われました。「箱根駅伝」は、午前8時にスタートし、全ての行程が中継されます。貴社のCMは、今年も酒の業界団体の自主基準である「酒類の広告・宣伝に関する自主基準」を守ることなく、午前中から放映されました。この基準は、1998年に業界自らがアルコール問題への配慮から決定したはずで、自ら決めた自主基準を守れない貴社に対し、大きな疑問を感じます。

箱根駅伝は、新春の恒例として毎年全国の子供から高齢者まで視聴し、昨年末から年始にかけてのテレビ番組の視聴率は、第2位だったと公表されています。視聴率が高い番組だけに、スポンサーの責任は重大です。先進国の中には、未成年者への影響の強さを考えて酒類メーカーがスポーツ・イベントの冠スポンサーになることを禁じている国もあるのです。それだけ慎重な配慮が必要であるということで、貴社には酒類メーカーとしての社会的責任を深く自覚していただきたいと思います。

私たちは次の事項を要望するとともに、その検討結果を3月10日(金)までに文書でご回答くださるようお願いいたします。

記

1. 自ら決めた「酒類の広告・宣伝に関する自主基準」を守ること
2. 未成年者もいる選手のゼッケンに酒類メーカー名を記載しないこと

以上

《東京消費者団体連絡センター代表委員団体》

東京都地域婦人団体連盟、 東京都地域消費者団体連絡会、 主婦連合会、
東京都生活学校連絡協議会、 新婦人の会 東京都本部、
東京都生活協同組合連合会

《日本アルコール問題連絡協議会参加団体》

アルコール問題全国市民協会(ASK)、 アディクション問題を考える会(AKK)、
日本キリスト教婦人矯風会、 日本アルコール・薬物医学会、
日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会、 飲酒運転に反対する市民の会
イッキ飲み防止連絡協議会、 全日本断酒連盟、 救世軍日本本営、
国際グッドテンプラーズ、 日本禁酒禁煙協会、
日本禁酒同盟、 QBE 保険会社